



西小林中学校だより

平成27年度 7月号
平成27年7月21日発行
文責：校長 吉牟田 浩一

■楽しかった修学旅行！■

6月30日（火）から7月3日（金）まで、本校の2年生が3泊4日の修学旅行に行きました。

1日目は、学校をバスで出発して、熊本港からフェリーで島原港に渡り、雲仙岳災害記念館を見学しました。予定していたペーロン体験は雨のために中止となりました。その後、長崎原爆資料館の見学をして、被爆体験をされた方の講話を聞きました。



2日目は、まず、平和公園に行き記念撮影をしました。そして、実行委員を中心に平和セレモニーを行い、世界の平和を全員で祈りました。そのあとは、長崎市内で班別自主研修を行いました。班長を中心に、班員で協力しながら長崎市内を巡り、チェックポイントの出島で記念撮影をして、ゴールのオランダ物産館に全員無事に到着しました。その後は、バスで佐賀県に移動して、有田焼のお店で絵付け体験を行いました。



3日目は、まず、福岡市の防災センターに行き、消火体験や地震体験、風圧体験などの防災学習を行いました。その後、福岡市内での班別自主研修を行いました。ゴールは福岡市博物館でしたが、歴史の授業で学習した「金印」を食い入るように見ていました。その後、バスで太宰府天満宮に移動し、記念撮影や高校入試合格を祈って参拝しました。また、九州国立博物館を見学しましたが、その大きさにびっくりしていました。



最終日は、三井グリーンランドに行きました。最初に、男子はメリーゴーランドに。また、女子は、立ち乗りコースター「風神雷神」に乗りました。その後、それ約4時間思う存分遊んでいました。しかし、帰り際にも、まだまだ遊び足りなそうな顔が見られました。

この修学旅行で、生徒たちを見ていて素晴らしいと思ったことがいくつありました。一つめは、集合時間に誰一人遅れなかったということです。常に時間より早く集合が完了していました。二つめは、食事中のマナーや片付けなどが素晴らしかったということです。三つめは、ホテルの方や一般の宿泊客の方にも、きちんとあいさつをする生徒の姿が見られたということです。そのほか、班長や部屋長、バスの中でのゲームを企画した学年係の生徒たちも、それぞれの立場でみんなのために、一生懸命頑張ってくれました。この修学旅行で学んだことを、今後の学校生活に活かして欲しいと思います。

○規律の大切さを学んだ集団宿泊訓練！○

7月1日（水）・2日（木）、1年生が御池青少年自然の家において、1泊2日の集団宿泊訓練を行いました。2日間で様々な体験活動を行い、学ぶ事も多かったようです。施設のテーマでもある「規律 協同 友愛 奉仕」を意識しました。また、今回の学習で、特に「時間を守る、聞く姿勢、空気を読む」という具体的な行動目標も立てました。



これからの学校生活の中でも、学んだ事を活かしてさらに成長して欲しいと思います。

★学びの多かった福祉施設訪問★

7月2日（木）、3年生は地域にある「和」、「あったか村」、「生駒の杜」、「ひまわり荘」、えびの市の「ほうよう」などの福祉施設を訪問しました。施設では、掃除や食事の準備などのほか、生徒たちが考えたゲームなどを行い、高齢者の方とふれ合いました。これまで、認知症サポーター養成講座や福祉体験学習で学んできましたが、実際やってみると、戸惑うことも多く、慣れない仕事で疲れたようでした。しかし、高齢者の方や身体の不自由な方にどのように接したらよいか、施設の方の姿を見て学んだことも多かったようです。



地域の方からたくさんのこと学ばせていただきました。今後、地域のために力を発揮する人、地域に貢献する人に成長して欲しいと思います

◇かつお料理に舌鼓！家庭教育学級◇

7月4日（土）の家庭教育学級では、県漁連の方をお招きして、生徒も一緒に「かつお料理講習会」を実施しました。かつおの1本釣り体験、1班ごとに1匹のかつおをさばき、「かつおのたたきやかつおのかつ、かつおめし」などの調理実習を行い、その後、みんなで試食をするなど、とても充実した1日となりました。また参加者も40名を超えて、とても賑やかな家庭教育学級となりました。

